



ふじ もと とも こ
藤本智子

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

救急医療体制充実のため、ERの設置を

問 救急搬送に関し、1～2回の電話照会で受け入れ病院が決まる率は、平成24年には83%程度あるものの、10回以上照会を要した件数は166件であった。

救急医療体制の充実を図るため、あらゆる患者を受け入れ診察し、高度な治療が必要な場合は専門医に任せる機能を持つ救急救命センター（ER）を大病院と連携し、設置すべきではないか。

答 ER型診療を実施する病院が全国的に増加傾向にあることは認識している。

本市でも、医師会の方々や三重大学医学部附属病院院長、三重中央医療センター院長等を構成員とする「津市応急診療所整備検討会」において、二次救急医療機関、三次救急医療機関との連携も考えながら、ER的な対応というものも念頭に置いた議論がなされたが、現状ではER的な対応までは難しいとの判断のもと、応急診療所の整備に係る方向性が出されたところである。

ERについては、ER診療が可能な医師の確保等の課題もあることから、今後の中長期的な救急の受け入れの在り方の一つの大きな方向性として理解している。

●その他の質疑・質問●

- 自治会との協力のために
- ・掲示板設置に補助制度を
- ・ごみ集積所補助の見直しを
- 入札不調が続く津市産業・スポーツセンターの規模縮小を
- インフラ整備事業について
- ・除雪費用及び大規模な都市公園の管理はインフラ整備事業とは別に予算確保を
- ・地域要望に対応できる新年度予算確保を など



▲入札不調が続く津市産業・スポーツセンターの規模縮小を



あお やま のり たけ
青山昇武

こうめいどうぎいんだん
公明党議員団

自転車の利用環境の整備について

問 自転車の対人事故での賠償が高額化するなか、事故に備えた保険が大事である。「TSマーク」は、対人死傷で最高2千万円まで補償している。また、大手コンビニチェーンでは、損害保険会社の自転車向け保険に加入できるようになった。

本市において自転車の事故に備えた各種の保険などへの加入について、市民に対して更なる啓発が必要であると考えている。

答 自転車保険について、本市では、津市交通教育プロバイダが行う交通安全教室や交通安全対策会議が指定する交通安全パイロット校の指定式等において、自転車の安全な乗り方を教えるとともに、悲惨な事故の内容を説明した上で、自転車保険があることをお知らせしている。

また、平成25年11月中旬には市内の小学校に対し、教育委員会から「TSマーク制度」の説明と普及について、資料を送付したところである。

今後は、毎年4回行われる交通安全運動期間中に実施する交通安全フェスタや市ホームページ等を通じて、「TSマーク制度」等の周知を行っていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 津市専用アプリの作成を
- 虫歯予防のためのフッ素洗口の考えは
- スポーツ指導者の育成と能力向上は
- 市施設の今後のLED化計画は
- 庁舎内での喫煙場所の廃止について
- 美杉のきれいな水を販売する考えは



▲（公財）日本交通管理技術協会の「TSマーク」